

花だより③ 梅

も深く関わりをもつようになつてきました。梅は春まだ浅い頃のシンボル的花ともいえます。

梅一輪一輪ほどの暖かさ
嵐雪

梅は万木に先駆けて開花するので、春告草の別名があり、バラ科の落葉樹です。

原産地の中国ではすでに二千五百年前から栽培されており、果実は薬用と食用の両方に用いられ、花は鑑賞用として愛され、中国文学に重要な位置を占めています。日本へは奈良時代、初期の遣唐使が薬用として持ち帰ったのが最初だといわれています。樹木が渡来するよりも早く、薬用として梅の実がもたらされたのです。梅の花は日本の気候に合ったのか瞬く間に広がり、日本人の心を捉えました。

今では、花と言えば、桜ですが、昔は梅でした。

日本最古の歌集・万葉集四千余首で一番詠われた花は、萩で百二十二首、次が梅の百十七首で、桜はぐつと少ない四十五首だそうです。

東風吹けば 思い起させよ梅の花
主なしとて春な忘れそ
菅原道真

道真の左遷の故事以来、梅は天神様の神木となり、日本人の精神文化と

この頃の梅見を探梅といい、やがて、盛りのころの梅見を観梅といい、区別するのだそうです。古来、梅の名所は近くにもたくさんあります。①市内の高砂緑地②横浜三溪園⑤二宮の蘇峰会館⑥熱海の梅林などさて、今年は、どこの梅を見に行きましょうか。

梅の和歌、俳句はたくさんありますが、今回は百人一首で締めましょう。



新年明けましておめでとうございます おめでとうございます

今年はリフシア開設10周年を迎えます。例年3月に開催してきた“リフシア介護セミナー”に替え、記念事業を8月に開催する予定です。詳細が決まりましたらご案内します。

ご好評をいただいております、リフシアオリジナルカレンダー（2014年版）が若干数残っています。ご希望の方はリフシアの各事業所にお問い合わせください。

■投稿
**松が丘 我の心にピッタリと
北國に 初雪便り 秋にしも
相馬**

「らいふ松が丘デイサービス」を利用していらっしゃる相馬真一様からの投稿



人はいさ
心も知らずふるさとは
花ぞ昔の香に匂ひける
紀貫之

（人の心はわかりませんが、ふるさとは、梅の花だけは、昔のままに香っています。現代人も通じる素直な歌ですね）（井）



らいふ通信「ぶちらいふ」冬号Vol.34
2014年1月15日（季刊発行）
編集／ぶちらいふ編集室
〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2822-1
TEL0467-55-5102 FAX0467-55-5103
発行／株式会社リフシア

lifsea
株式会社リフシア

らいふ萩園 デイサービス（認知症対応型・一般型）TEL 0467-89-5277
らいふ萩園 居宅介護支援センター TEL 0467-89-5277
らいふ松林 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-54-8591
らいふ柳島 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-84-1220
らいふ香川 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0467-55-2110
らいふ松が丘 デイサービス TEL 0467-53-9521
らいふ松が丘 小規模多機能型居宅介護 TEL 0467-53-9610
らいふ神明 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0466-21-7893
らいふ善行 小規模多機能型居宅介護・グループホーム TEL 0466-53-7875



石野フサイさんは、この3月三女の加藤敬子さんと一緒に同居を始めた4年になります。ご家族は、同じ話を繰り返す、迷子になる、夜中頻繁に起きてしまふなどの様々な認知症状にとまどい迷いながら介護を続けています。茅ヶ崎の生活に早く慣れ充実した時間を作つてあげたいと、当初から「らいふ萩園」のデイサービスを利用し始めました。敬子さんの手記が届きましたので紹介します。

前から一人暮らし。誰との電話でも紋切り型の言葉ですが、今の状況を母なりに理解していることが分かります。



らいふさんとのお付き合いが始まりました。一緒に暮らす

「ご無沙汰しています。みんな元気？毎日さあ老人ホームに行っているの。楽しいよ。ずっと茅ヶ崎にお世話になって。そのうち、そつちにも行こうと思うのだけれど。旦那によろしくね。」母が、姉と電話で話をしています。姉はずつと



母の90歳の誕生会の時の写真（平成25年7月2日）
姉たちが来てくれて満喫。
(投稿者の加藤敬子さんは写真向かって左端)

母はすべてに見守り+認知症です。「ありがと×2」「お世話になりまばあちゃんです」が口癖の穏やかなお年間、一緒に暮らそう

夫から母を引き取る

うと言われた時、まず5年間を決めました。

（あ）、本当に老人ホームをらいふ

さんが作ってくれるといいのになあ）

書いて漱を浄化させています。

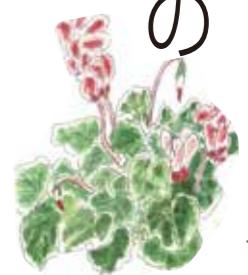
母が穏やかな気持ちのまま、日々を過ごしてほしいと願う気持ちに変わりはありませんが、それにはまず、夫婦家族が平和である

こと！我が家が平和のために、これからも、らいふの皆さんにだけです。夜間せん妄はじめ、母が困ったさんになつたときは、連絡帳にびつり

お願いいたします。

（あ）、本当に老人ホームをらいふ

地域包括ケアとこれからのかかわりの高齢者ケアを考える



2014年を迎えて、リフシアはどのような方向を目指しているのですか

平成25年12月20日の社会保障審議会介護保険部会は、高齢者の多様なニーズに対し市町村を中心となつて基盤整備をすすめ、要支援者と2次予防事業対象者が利用する「介護予防・生活支援サービス事業」と、全ての高齢者が利用する「一般介護予防事業」を新しい総合事業にする考え方を示しました。施行は平成27年4月から2年かけて移行するとされ、地域包括ケアシステムの構築に

向けた事業の見直しが、2025年を見据え第6期介護保険事業計画の策定に向けて行われています。特集ではこの点について、株式会社リフシア常務取締役小嶋達之氏に聞きしました。

最近よく耳にする「地域包括ケアシステム」について教えて下さい

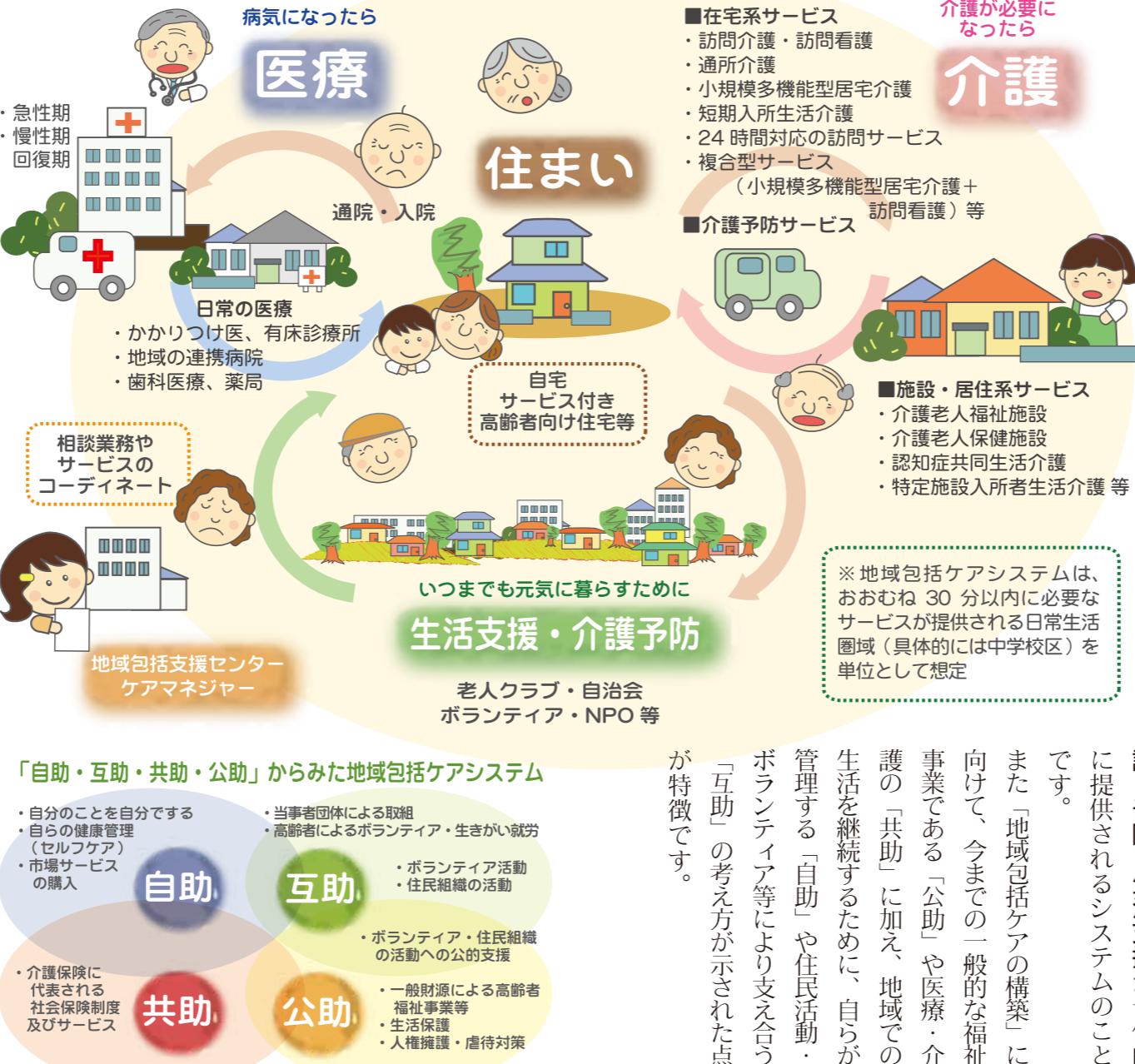
これは、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途として、要介護状態になつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、住まいをベースに医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムのこと

※地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏域（具体的には中学校区）を単位として想定

- 在宅系サービス
 - ・訪問介護・訪問看護
 - ・通所介護
 - ・小規模多機能型居宅介護
 - ・短期入所生活介護
 - ・24時間対応の訪問サービス
 - ・複合型サービス（小規模多機能型居宅介護+訪問看護）等
- 介護予防サービス

- 施設・居住系サービス
 - ・介護老人福祉施設
 - ・介護老人保健施設
 - ・認知症共同生活介護
 - ・特定施設入所者生活介護等

地域包括ケアシステムの姿



ここで北欧デンマークの「高齢者福祉三原則」を紹介します。これは、高齢者の尊厳の原則と言えるものだと思います。

- ①人生の継続性・・・年をとつても住み慣れた地域で暮らすこと、住むところが変わることになつても地域との関わりやその人らしい暮らしを継続する。
- ②自己決定尊重・・・老後の暮らし方を自分で決める。たとえ一人暮らしであつても家で暮らしたいと希望するならその暮らしを尊重し社会がこれを支える。
- ③残存能力活用・・・まだ残っている機能を活かし、日常生活において自分で出来ること自分で行う。

自治会の避難訓練。
昨年11月松林小学校に於て。



尊厳を大切にすることと、地域包括ケアシステムは、どのように結びつくのですか

介護保険法第1条には、「尊厳」が理念として示されています。尊厳とは、「その人らしく暮らす」ことだと思います。ご本人が望まれるのであれば、住み慣れた地域、そして家での生活を実現することは、その方の尊厳そのものであると言えるのではないでしようか。

ここでも北欧デンマークの「高齢者福祉三原則」を紹介します。これは、高齢者の尊厳の原則と言えるものだと思います。

- ①人生の継続性・・・年をとつても住み慣れた地域で暮らすこと、住むところが変わることになつても地域との関わりやその人らしい暮らしを継続する。
- ②自己決定尊重・・・老後の暮らし方を自分で決める。たとえ一人暮らしであつても家で暮らしたいと希望するならその暮らしを尊重し社会がこれを支える。
- ③残存能力活用・・・まだ残っている機能を活かし、日常生活において自分で出来ること自分で行う。

安心の住まい サービス付高齢者向け住宅

入居ご相談 随時受付中

**平成26年5月オープン
リフシア浜之郷**

併設：訪問介護事業所
：居宅介護支援事業所

暮らしにやさしい費用設定
家賃(共益費含)・生活支援・安否確認込みで
月額費用 99,500円～

家 賃 53,000円～ 共 益 費 8,500円～
生活支援費 38,000円 敷 金 家賃の3ヶ月分
※月々の費用は60ヶ月分の家賃一部前払い制度を利用す
ればさらに低く設定ができます
※費用に消費税は含まれません

☎ 0467-55-5102
所在地：神奈川県茅ヶ崎市浜之郷738-1

今後地域ごとに構築が急がれる「地域包括ケアシステム」もまさにこの考え方には沿つたものです。

「地域包括ケアシステム」の構築には、様々な地域の人々が関わらなくてはなりません。リフシアは、「住み慣れた地域で生活を継続する」ことの大切さにこだわりながら、その構築に向け微力ながらも関わりを深めたいと考えます。

第2の視点は、現状の介護サービスに加え、在宅への食事提供などの生活支援や介護予防機能の充実を図ること、そしてまた、地域防災や障害者雇用等を通した地域連携や社会貢献にも積極的に取り組むことです。これは共助である介護サービスだけでなく、自助や公助への関わりを深めるということです。これら二つの視点で、地域での暮らしを幅広くサポートさせていただこうことができるものと考えています。

「在宅介護」に国が舵取りしても、高齢者の方が多いと思います。リフシアは、この課題に二つの視点を持つてあたります。第1の視点は、在宅生活を支えるための幅広いサービスを整える事です。訪問、通い、宿泊から住まいまで、これらによりご本人の状態が変わつても、その状態に応じたサービスで在宅生活を支える事ができます。そして、地域生活の最も基本的な基盤である住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、住まいをベースに医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステムのことです。